

令和6年2月吉日

保護者様

京都市立南大内小学校
校長 皆川 真有美

令和5年度 学校評価アンケート<後期>

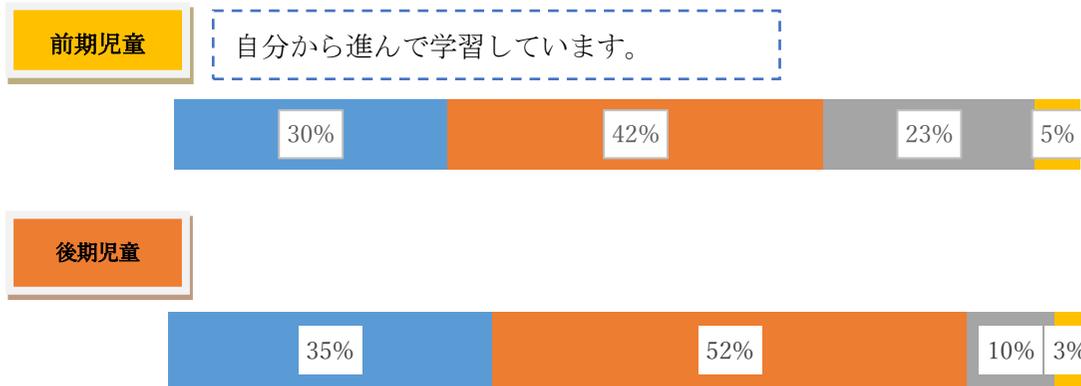
平素より本校教育推進に多大なご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、12月に実施しました学校評価アンケートについてお伝えします。アンケートの数値や前期結果との比較から子どもたちの様子や保護者の皆様のご意見をもとに、前期同様に計画・実行・点検・検証（PDCA）のサイクルで学校教育の充実と向上を図りたいと考えております。

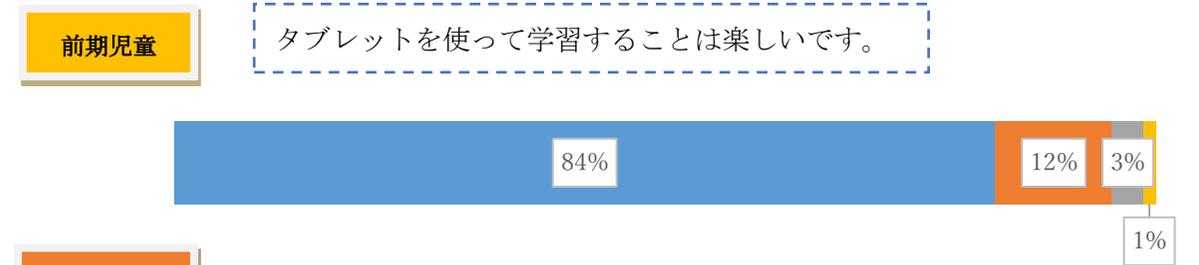
*グラフの項目、左より 「そう思う」「大体そう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」

1 「確かな学力」の育成に向けて

本校の学校教育目標の中に、『自らを高める』とあります。これは、子どもたちが「主体的に学ぶこと」を実現できる資質・能力を育てることを目指しています。「自ら進んで学習すること」についての項目を見ると、前期よりも「そう思う」や「大体そう思う」が高くなっています。学習が進んでいくにしたがって、学習の目的や自分自身で学習をしたい内容が明確になってきている結果ではないでしょうか。

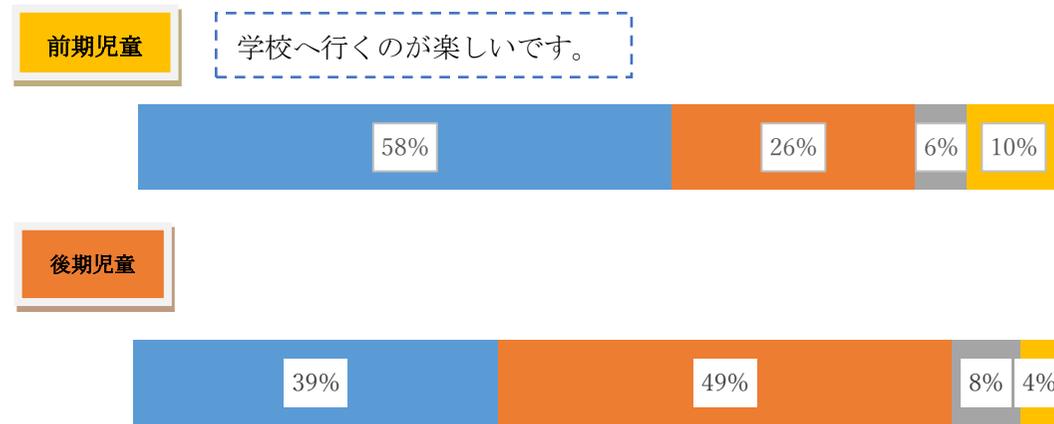


前期と同様に「タブレットを使って学習することは楽しいです」の項目は後期もとても高い数値を示しています。しかし、その反面「先生や友だちによくわかるように話しています」「しっかりと先生や友だちの話を聞いています」の項目を見ると「そう思う」の割合が前期よりも減少しています。学習が進む中で、自分で学習をどんどん進めていける場面も増えてきました。タブレットが普及と直接的な関係があるかは分かりませんが、学習の「話す・聞く」は学習の基礎・基本となるものですので、今後も大切にし、しっかりと伝えていきたいと思います。

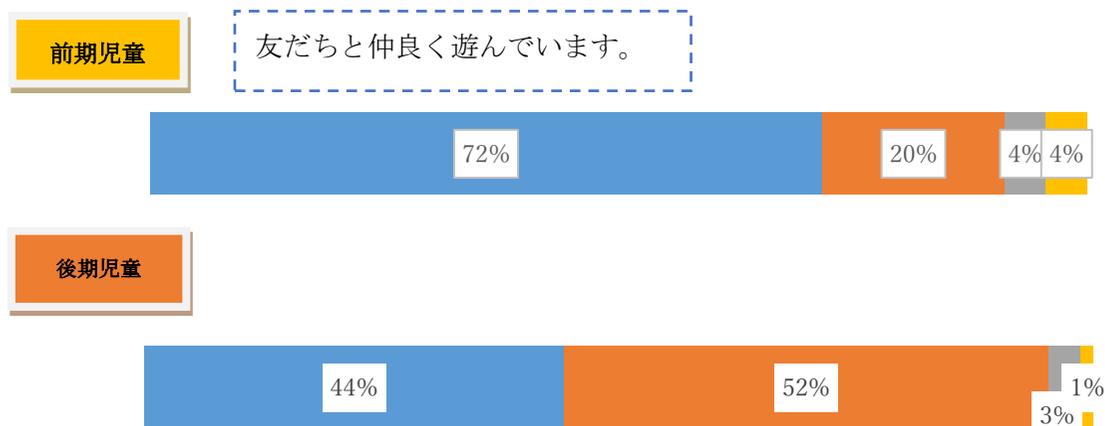


2 「豊かな心」の育成に向けて

豊かな心の育成のためには、支えあい、高め合う集団作りの推進と絆づくりが欠かせません。また、規範意識をもち、多様性を理解することも大切です。子どもたちがどのような思いで日々の学校生活を過ごしているかを把握し、豊かな心の育成を目指していきたいと思ひます。



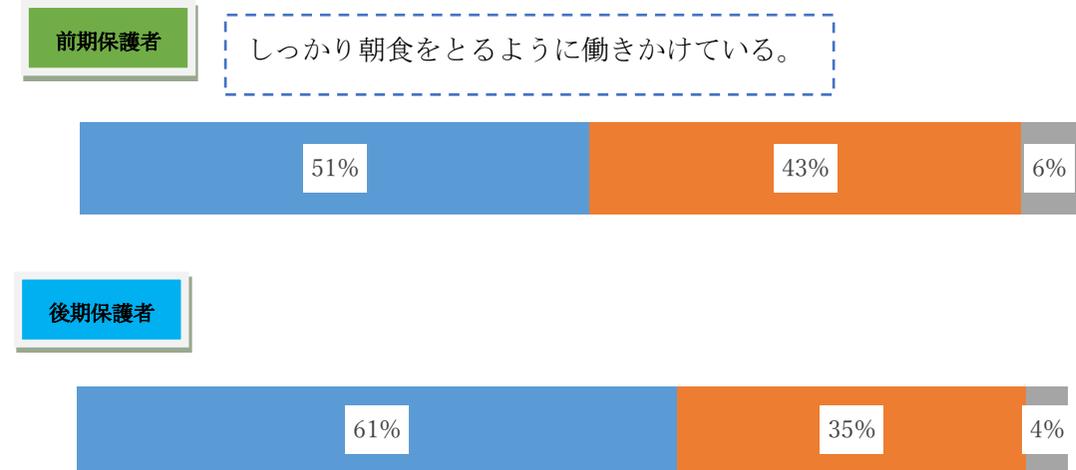
「学校へ行くのが楽しいです」の項目を見ると、「そう思う」「大体そう思う」の割合は後期もとても高くなっています。しかし、「そう思う」だけに目を向けると20%近くも低くなっています。前期アンケートから後期アンケートの間の半年間に何があったのか、児童の声にしっかりと耳を傾けていかなければならないと思ひます。また、楽しいと感じていない児童も前期と変わらずいることにも目を向けなければなりません、「そう思わない」の割合が10%から4%になっていることは嬉しいことであります。今後も児童の声に耳を傾け、細かな対応を心がけていきます。そして、豊かな心を育成していきたいと思ひます。



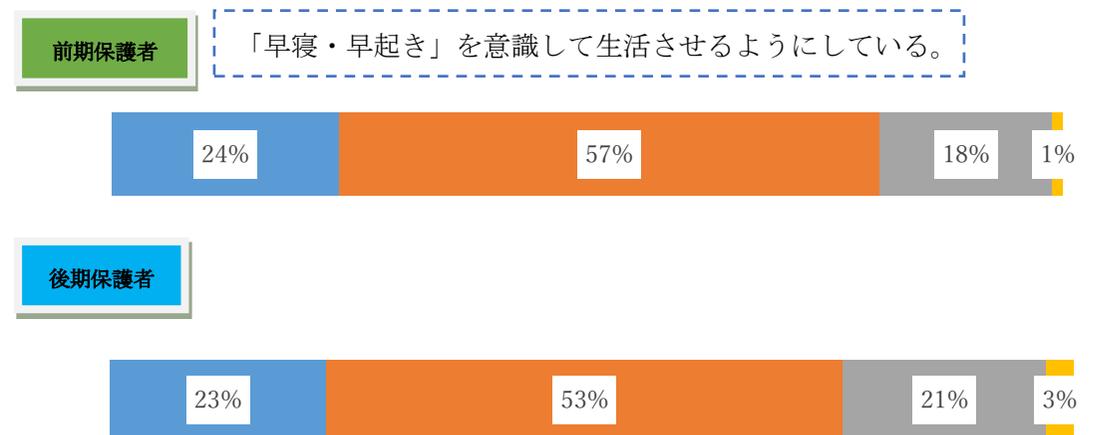
「友だちと仲良く遊んでいます」の項目を見ると、「そう思う」の割合が前期と比べて低くなっています。先に述べた「学校へ行くのが楽しいです」の割合が低くなっていることと関係しているのかもしれない。本校が大切にしている『対話的な学び』において充実した友だち関係は大きな役割をはたしていると考えています。学級や学年を問わず、学校全体で友だち関係を大切に育み、『対

話的な学び』を高めていきたいと思ひます。

3 「健やかな体」の育成に向けて

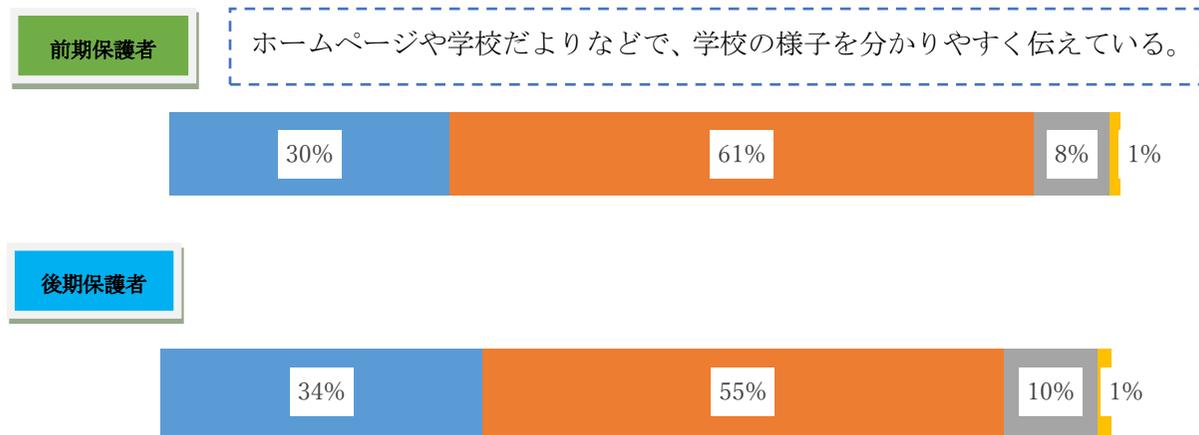


保護者アンケート「しっかり朝食をとるように働きかけている」の項目では「そう思う」「大体そう思う」が後期も9割以上の割合を占めています。しかし、「そう思う」だけに着目すると後期は前期よりも10%も数値が高くなっています。各家庭が朝食を食べる習慣を意識していただいている結果だと思ひます。勉強や運動をするためには朝食は欠かすことができないものだという事を今後も発信していけたらと思ひます。

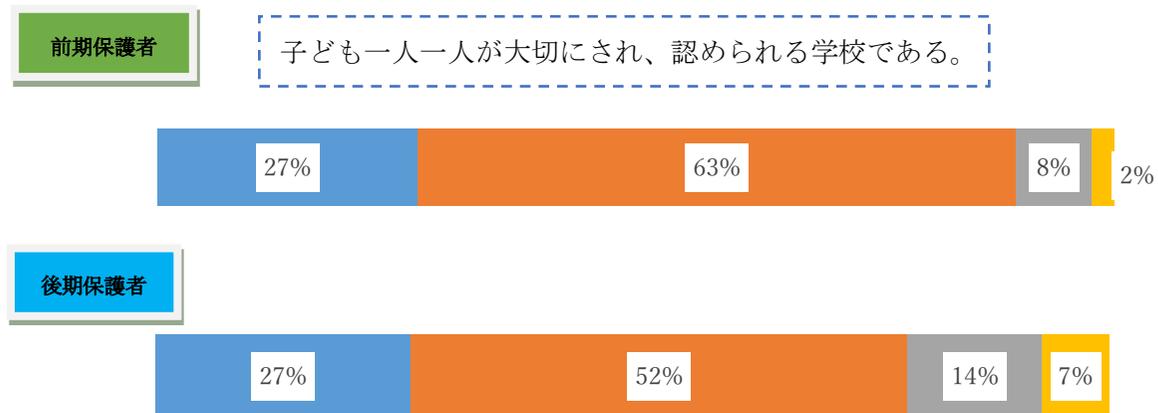


保護者アンケート『早寝・早起き』を意識して生活させるようにしている」の項目では「思う」「大体思う」の結果が前期よりも若干減少しています。朝食同様に睡眠は学習だけでなく健康で丈夫な体づくりには欠かせないことですので学校と家庭が協力しながら今後も生活チェックを継続していきたいと思えます。よろしくお願いします。

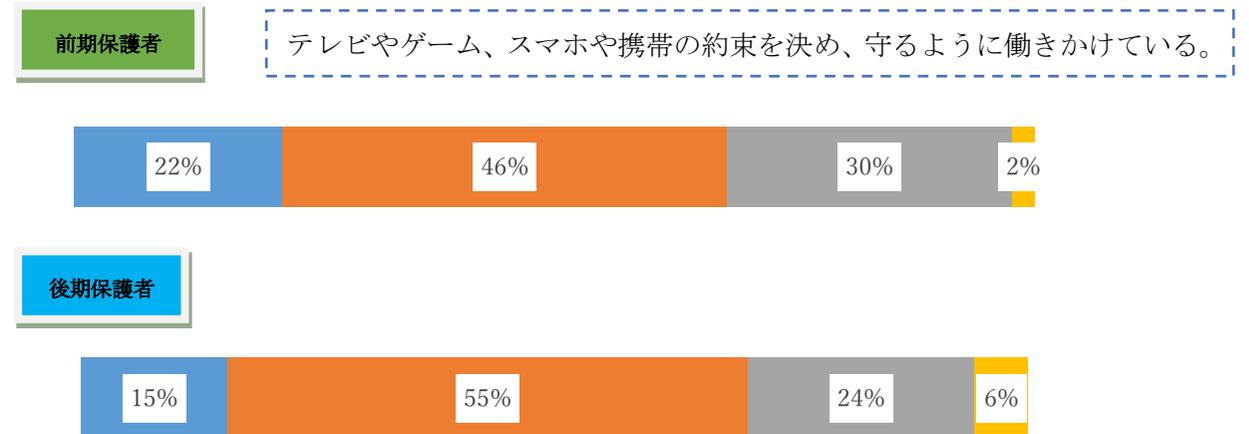
4 その他



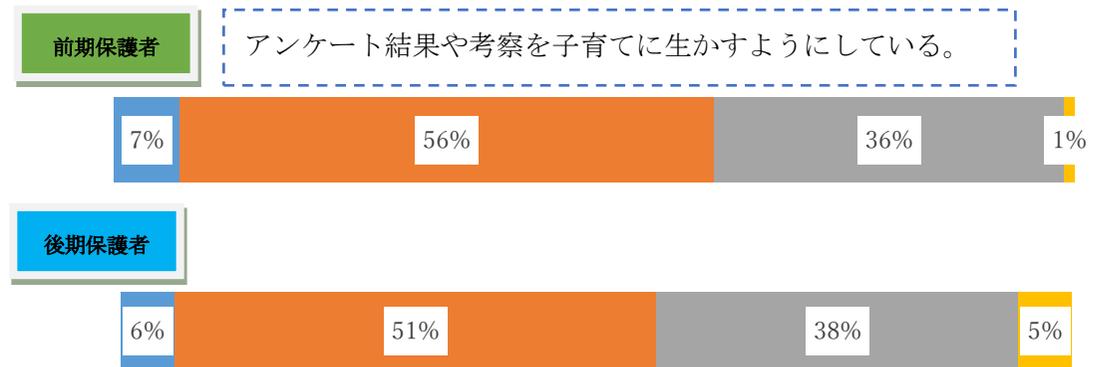
保護者アンケート「ホームページや学校だよりなどで、学校の様子を分かりやすく伝えている」の項目では前期と後期とでは大きな変化はありませんでした。学校全体で、後期はホームページ等で学校の様子や児童の様子をもっともっと発信していこうと取り組んだつもりだったのですが、保護者アンケートの結果を見る限り、まだまだ改善の余地はあるように感じます。保護者の皆様にとっては学校や児童の様子を手軽に知ることのできるホームページを更に充実したものにできるように今後も取り組んでいこうと思えます。



保護者アンケート「子ども一人一人が大切にされ、認められる学校である」の項目では、「思う」「大体思う」の結果は前期と変化はありませんでしたが、「大体思う」の結果は大きく減少しています。この結果は学校として真摯に受け止めなければなりません。保護者の方が安心して子どもたちを預けられるような学校でなくてはなりません。教職員全体でこの結果を改善できるよう努めていきたいと思えます。今後も引き続きよろしくお願いいたします。



保護者アンケート「テレビやゲーム、スマホや携帯の約束を決め、守るように働きかけている」の項目では「思う」「大体思う」を合わせた結果が前期よりも増加しています。後期にはデジタルシティズンシップに関する授業参観を行い、学校と家庭が協力して児童への働きかけをしてみました。その結果が少しずつ現れているのではないのでしょうか。今後もこの結果に満足せず働きかけていきたいと思えます。



今後も保護者の皆様が子育てに生かすことのできるアンケートを実施して参ります。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。今回のアンケートで得た成果と課題を次年度の学校教育に反映していきたいと思えます。